

令和5年10月31日 市民の声を聞く会 意見交換会 まとめ

取扱い凡例

- A 所管委員会で検討すべきもの
- B 意見として聞き置くもの（いただいたもの）
- C 回答済のもの
- ※ 直ちに執行機関において処理が必要と判断されるもの

番号	会場	項目	詳細	取扱いの有無	所管委員会	担当部署	取扱い
1	堀之内	議会だよりの決算審査の記載方法について	決算審査の認定基準はあるか。普通は、「予算・決算・増減」となるが予算が分からない。予算決算を並べて記載してほしい。	有	広報広聴	—	B
2	堀之内	生涯学習センターについて	何を事業とするのか。公民館事業と生涯学習はどこが違うのか。箱物を先にして、あとで中身を検討して考える状態ではまずい。中身を教えて欲しい。	有	福祉文教	生涯学習課	A
3	堀之内	生涯学習センターについて	ワークショップを市民に広く聞く形で行ったのか。	有	福祉文教	生涯学習課	C
4	堀之内	生涯学習センターについて	生涯学習センターにバスターミナルを整備して人を集める仕組みをつくる。	有	福祉文教 総計策定調査	生涯学習課	A
5	堀之内	生涯学習センターについて	省エネをやって欲しい。地中熱を使って駐車場の消雪も出来る。地中熱を利用した大きな施設はないので外からの見学や視察がくると思う。国や県の補助金も使い検討して欲しい。	有	福祉文教	生涯学習課	B
6	堀之内	生涯学習センターについて	運営方法は、指定管理か直営か。館長や雇用問題はどうなっているのか。	有	福祉文教	生涯学習課	A
7	堀之内	生涯学習センターについて	マスタープランや基本計画はどのくらいの時点で決まるのか。どこに問い合わせればいいのか。	有	福祉文教	生涯学習課	A

番号	会場	項目	詳細	取扱いの有無	所管委員会	担当部署	取扱い
8	堀之内	町場への交通手段について	高齢者人口が増える中、町場への交通手段の検討	有	福祉文教 総計策定調査	生活環境課	A
9	広神	温水プールの建設（検討委員会の立ち上げ）	<ul style="list-style-type: none"> ・市長はR8年ころになれば、合併特例債を改修事業等が終わり落ち着くとの答弁だった。それに向け検討委員会を立ち上げてほしい。 ・市内にプールがないために、小千谷や六日町に通っている人もたくさんいる。どこに造るかなど検討委員会を立ち上げて欲しい。 ・全身運動ができる温水プールを造って欲しい。自己所有の7,000㎡の土地を市に寄付するので建設用地として使って欲しい。災害のない場所でもあるので議会として、建設検討委員会をつくって欲しい。 	有	福祉文教	生涯学習課	B・C
10	堀之内	温水プールについて	自分の土地を提供したいと言っている人がいる。	有	福祉文教	生涯学習課	B
11	堀之内	温水プールについて	学校でアンケートをとり、保護者の意見を聞いてもらうのはどうか。広く意見を聞いてもらいたい。	有	福祉文教	生涯学習課	B
12	堀之内	資源としての雪の活用について	雪は資源、白いダイヤだと捉えてやっていくように、雪を貯めて活用するように方向転換したらどうか。	有	産業建設	商工課	B
13	堀之内	コミュニケーションの取れる場について	「市民の声を聞く会」のような場を増やして欲しい。一人ひとりの声に耳を傾けられるダイバーシティをつくって欲しい。	有	総務	企画政策課	市民の声を聞く会や中学生議会等の関係もあり議会内部でも検討
14	堀之内	主権者教育について	主権者教育と言う意味で若者の声を拾えるようフラットでおしゃれな所で、敷居を落とす事を意識して声を聞いてもらいたい。	有	総務	企画政策課	
15	堀之内	旧庁舎の活用について	広神の文化財センター、堀之内物産館は、直営なのか指定管理なのかビジョンが見えない。	有	総務	企画政策課 管財課	※執行部へ (R6.3.28委員会で現地調査を実施)

番号	会場	項目	詳細	取扱いの有無	所管委員会	担当部署	取扱い
16	堀之内	公共施設の名称変更について	合併して20年近くなる。名称変更を「魚沼市」として早く取り組んでもらいたい。	有	総務	企画政策課	B 順次、取組中
17	堀之内	福祉施設と市の関係について	チラシで福祉関係の職員募集が出ている。その施設と市の関係はどうなっているのか。	有	福祉文教	福祉支援課	C
18	堀之内	マスク着用について	コロナが5類になってからマスクの使い方はいろいろと問題になっている。今は非常に話が聞きづらい。この中でマスクが必要なのか、議員は率先してマスクを外していくべきではないか。	無	—	—	—
19	広神	小学校の登下校（スクールバスの活用）について	スクールバス活用にあたり、現在条件から臨機応変に有効活用が出来るような体制を作って欲しい。 小平尾全体では、今現在、小学生が15、16人程度で1年生が2人いる。1年生は入り口と奥側にそれぞれいて、週2回あたり保護者が迎えに行く。滝の又にまで乗っているのは1人か2人。小平尾は縦長で端から端まで1km以上ある。公民館が基準で2・5km、スクールバスはない。気温が37℃や、38℃の時には汗でぐしょぐしょになっている。熊の話もある。冬は吹雪の時もある。除雪が来ないから長靴が埋まるほどになる。臨機応変にスクールバスを有効利用できないか。	有	福祉文教	学校教育課	B
20	広神	森林環境税の配分方法について	今回の税制改正で、検討すると思うが、自治会でも使いやすい方法でイノシヤクマなど里山整備が必要だ。議会として注視していただきたい。	有	産業建設	農林整備課	B
21	広神	中学校部活動の地域移行について	各団体とコーディネーターとの意見交換をお願いしたい。意見交換の要望をしているが実現していない、地域クラブ推進委員の11名の中で、内容が決められている。 議会ユーチューブを見ると教育長は、各団体と意見交換しているとしているが、それは、行っていない。今後クラブ化したときに、指導者には謝金として時給1,600円で賄うとしているが、財源を行政からどれだけ出せるかの話もない。アンケート調査もやっていない。魚沼市では、平日、休日など含め令和7年4月から完全移行するとしているが、国では、先ず土日移行して段階的に平日も含めて進めていこうとトーンダウンしている。本当にできるのかと考える。この状態で本当にできるのか。お金の問題を解決しないで進めて、最終的に誰が責任を取るのか。まず、受け皿になる各団体と学校、保護者、子どもたちを一同に集めた意見交換を行ってほしい。	有	福祉文教	学校教育課	広報広聴特別委員会 で意見交換を実施 (R6.2.29)

番号	会場	項目	詳細	取扱いの有無	所管委員会	担当部署	取扱い
22	広神	クマ出没のアナウンス	アナウンスが男性の声で良く聞こえない。女性の声でお願いしたい。	有	総務	防災安全課	※執行部へ (ホームページに防災行政無線の内容を掲載できないか、文字で見れる体制づくりについて)
23	広神	防災行政無線について	場所により、うるさいところと聞こえないところがある。昔から言っているがどうしようもない。村上市は、インターネット回線を使って市が補助しながら一軒ずつ文字に残るかたちにしている。それを回覧している。そういう他自治体の状況を視察した中で検討して欲しい。	有	総務	防災安全課	
24	広神	地域食堂について	本当に支援しなければならない人が来ないというのが現状だ。	有	福祉文教	福祉支援課 子ども課	B
25	広神	ボッチャのコートについて	障害者もできるボッチャのコートが不足している。高齢者のフレイル予防や、介護予防に使っている市もある。高齢者を元気にすれば医療費もかからない。	有	福祉文教	福祉支援課 生涯学習課	B